

令和4年大綱白里市議会

第1回定例会市長事務方針

2月17日から3月16日まで、市議会第1回定例会が開催されました。開会日に、市長から令和4年度の事務方針が述べられましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等の詳細は、市ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症

年明け以降、感染者が増加したこと、公立の幼稚園、小学校、中学校を休園・休業するとともに、市内各公共施設の利用を停止しました。10日間の休園・休業により感染抑制が図られたため、1月24日より登園・登校を再開しました。再開時の不安を少しでも軽減できるよう、すべての小中学生の家庭に抗原検査キットを配付しました。

子どもたちの学びを止めないよう感染症対策に細心の注意を払い、教育活動を行います。新型コロナウイルス3回目の追加接種は、市内4か所での集団接種のほか、大網病院等市内17か所のクリニックにて個別接種を行っています。18歳以上のすべての希望者に対し、2回目の接種日からの間隔を6か月に前倒ししてスピードアップを図ります。

当初予算・今後の財政運営

一般会計の規模は、前年度を上回る155億2千万円となり、福祉関係費や公債費の増加等により生じた4億1千万円の財源不足について財政調整基金等を取り崩し、補てんしました。これにより、予算編成後の財政調整基金残高は、10億3千万円となる見込みです。

今後も「財政健全化に向けた緊急的な取組み」に基づき、全庁一丸となって、歳入歳出の両面にわたるあらゆる対策

防災対策

令和3年度に実施を計画していた「九都府市合同防災訓練」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の訓練を除き中止となりましたが、県と再協議した結果、令和4年度も本市を千葉県会場として実施することに決定しました。

より効果的な訓練とするため、市計画の「総合防災訓練」および「津波避難訓練」を訓練項目に組み入れる方向で、再度協議を進めます。「土砂災害避難訓練」、「職員災害初動対応訓練」は、例年どおり市独自の防災訓練として実施し、防災力の向上に向け実践的な訓練を計画します。

社会福祉

「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」は、対象の世帯に、2月下旬を目途に通知を発送できるよう手続きを進めています。また、問い合わせ等の混乱を防ぐため、コールセンターおよび受付窓口を開設します。

子育て支援

全国的に子どもの虐待に関する事件が多数発生しており、本市も相談業務を行って

が、相談件数が増加し、内容も複雑化してきていることから、令和4年度より「子ども家庭総合支援拠点」として子育てに関する相談・支援体制の充実を図り、児童虐待の防止に努めます。

また、「子育て世帯への臨時特別給付金」の支給状況は、対象となる約3,700世帯のうち、2,981世帯に対し、申請不要のプッシュ型方式にて支給し、申請が必要な高校生相当年齢のみ子どもを養育する482世帯へ支給しました。

高齢者福祉

「第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に掲げている目指すべきまちづくりに向け、認知症対策や介護予防などの各種施策を推進します。

認知症高齢者グループホームの整備については、用地取得や地域住民への説明などが予定どおり進行しており、事業者と連携を図りながら、令和4年度内の完成を目指します。

公共交通

「大網白里市地域公共交通計画」は、年度内の計画策定に向け、計画案に対するパブリックコメントを実施しました。

寄せられた意見等を踏まえ、地域公共交通活性化協議会にて協議し、最終的な取りまとめを行った上で、令和4年度から運用を開始します。

住民協働事業

昨年に引き続き、「日本語教室の運営」の事業を採択し、

現在、4月からの事業の円滑な実施に向け、協議を進めています。引き続き、地域課題の解決に向け、市民や団体の自主的・自立的な取り組みを支援します。

空き家対策

平成29年に空き家バンクをスタートしましたが、その後も居住実態の無い家屋が増加しています。近隣の住環境に大きな影響を与える可能性もあることから、市内の空き家の現状を把握すべく、現地調査を進めており、今後空き家所有者への意向調査を進めます。

国民健康保険

新型コロナウイルスによる市民生活への影響を考慮し、国民健康保険税の税率を据え置き、不足分を基金で補てんしてきましたが、今後の国民健康保険特別会計の収支を推計したところ、現行税率では、令和5年度には基金が枯渇し、収支の均衡が図れなくなることから、安定的な運営を図るためにも、税率の見直しは避けられません。

昨年末に開催した国民健康保険運営協議会で審議し、県の標準保険料率の水準まで改定する案が承認されたことから、本定例会にて条例の改正案を提出しました。今後も、標準保険料率と国民健康保険特別

農業関係

安定した農業経営が可能となる基盤づくりに向け、山辺地区の農業基盤整備事業について国との協議が整いました。今後、千葉県が事業主体となり、令和10年度の工事完了を目指し事業を進めます。

また、近年、増加傾向にある野生鳥獣による農作物等への被害については、県や猟友会と連携し、被害軽減に向けた取り組みを進めます。

夏期観光

令和4年度は、県より示された感染防止策を実施した上で、海水浴場を開設する方向で準備を進めています。

関係団体等と連携を図り、コロナ禍でも実施可能な各種イベントを開催し、観光振興に取り組みとともに、メディアやSNS等を積極的に活用し、市の魅力発信に努めます。

都市基盤整備

大網駅南地区の市街地整備は、昨年「まちづくり勉強会」を開催し、「まちづくり協議会」の設立について提案しました。現在、協議会発足の準備を進め、地権者の中から協議会を代表するメンバーを募っています。今後、協議会を正式に立ち上げ、令和4年度より、協議会との協働でまちづくりの協議を行います。

開発行為における権限事務の移譲について、関連する施

行規則や許可基準等を定め、権限移譲の準備を進めるため都市整備課内に設置した「開発審査準備班」は、4月1日からの条例の施行に併せ、「開発審査班」と名称を改め、権限移譲の許可等の実務面を担います。

このほか、太陽光発電施設については、先の議会の請願を受け、他自治体の条例等の研究を進めています。

下水道事業

経営基盤の強化と一般会計からの繰入金削減が喫緊の課題であるため、先の市議会第4回定例会で下水道使用料の改定の承認をいただき、現在、準備を進めています。

これと並行し、中長期的な経営の基本計画となる経営戦略の策定を進めています。4月1日からの使用料改定と併せ、新たな経営戦略のもと、経営の適正化を目指します。

また、将来にわたり適正な状態を維持するために、浄化センターなど根幹的施設の改築更新および耐震診断に継続的に取り組まします。

庁舎整備

大規模改修を段階的に行うべく、現在、第1期工事への実施設計業務を進めています。第1期工事では現庁舎の長寿命化に向け、構造上の問題の抜本的な改善を図るため、防水改修や耐震補強を実施し、定期点検等の際に指摘を受けている防火設備等の改修を行う予定であり、今後、速やかに工事を実行できるよう努めます。エレベーター棟の整備

全、安心な医療を提供します。

教育関係

施設改修等について、今年度は国の地方創生臨時交付金を活用して、小中学校体育館内のトイレ洋式化工事に取組んでおり、年度内の工事完成を目指します。令和4年度は、校舎内のトイレ洋式化への着手も検討します。

コミュニティ・スクールについては、令和4年度からの実施に向け、現在、準備を進めており、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう努めます。

大網病院

令和3年度の外来患者数は例年並みまで回復してきてはいるものの、入院患者数は、いまだ例年を下回る状況であり、大変厳しい運営状況が続いています。令和4年度も、新型コロナウイルスの影響を想定していますが、発熱外来をはじめ、千葉県の病床確保計画に沿った新型コロナウイルス陽性患者の受け入れを継続し、市民病院として、安全、安心な医療を提供します。



やトイレの改修等も、経済性や効率性を十分見極めながら、第2期工事以降での整備の実現を目指します。